

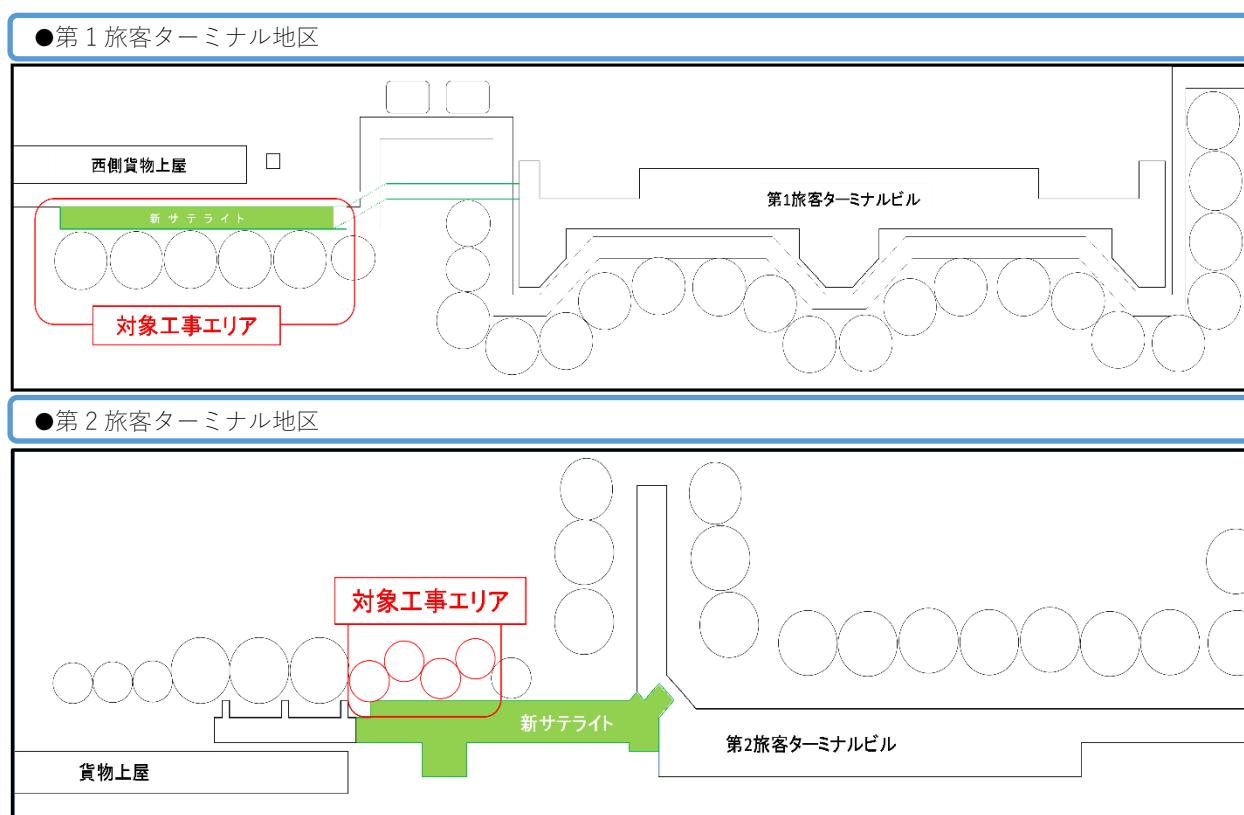
羽田空港 航空機用動力供給設備の増設

羽田空港では国土交通省が実施する第1旅客ターミナル(T1)・第2旅客ターミナル(T2)の エプロン大規模改修およびスポット再編が計画されております。これに合わせ、日本空港ビルディング(株)が、現在の T1 西側貨物地区に新サテライトの建設ならびに T2 北サテライトの拡張を予定しています。当社は国土交通省が推進している、『空港分野における CO₂ 削減』に積極的に貢献していくこととしておりますが、今般ターミナル再編に合わせて航空機用動力供給設備(GPU)の増設を決定いたしました。

当該設備 (GPU) を航空機搭載の APU※に替えて活用することで、CO₂ 排出量や騒音の削減が可能となり、環境負荷低減に大いに貢献することが出来ます。

当社では第1旅客ターミナルは1993年から、第2旅客ターミナルは2004年からGPUによる事業運営を行ってまいりましたが、今後とも航空機用動力供給設備の整備により、空港分野における脱炭素化に向けて邁進して参ります。

※APU：補助動力装置(Auxiliary Power Unit)



工事はエプロン改修やビル建設工程と歩調を合わせ実施いたします。
2025年度内の完成を予定しております。